

市民エネルギーが切り拓く新潟の新しい社会

ISEP20周年記念イベント ——「新しい社会」をつくるために——

おらってにいがた市民エネルギー協議会 事務局長 木村義彦



おらってにいがた
市民エネルギー協議会

市民エネルギーが切り拓く新潟の新しい社会

「おらって」の誕生 ～ 背景としての「3・11」～

「おらって設立趣意文」から

2011年3月11日の東日本大震災とそれにとまなう福島原子力災害は、「天災」あるいは「人災」であると同時に、日本の戦後や近代文明のあり方そのものを問い直す「**文明災**」とも言われました。またこの災禍は、中央が潤うために地方が負担やリスクを背負うという、**中央と地方との不平等な関係**も浮き彫りにしました。今まさに私たちは、これまで築いてきた社会のあり方や「**豊かさ**」そのものを**根源から問い直し**、未来の世代に引き継ぐための**新しい社会**のあり方を模索しなければならない時代を迎えていると言えます。...

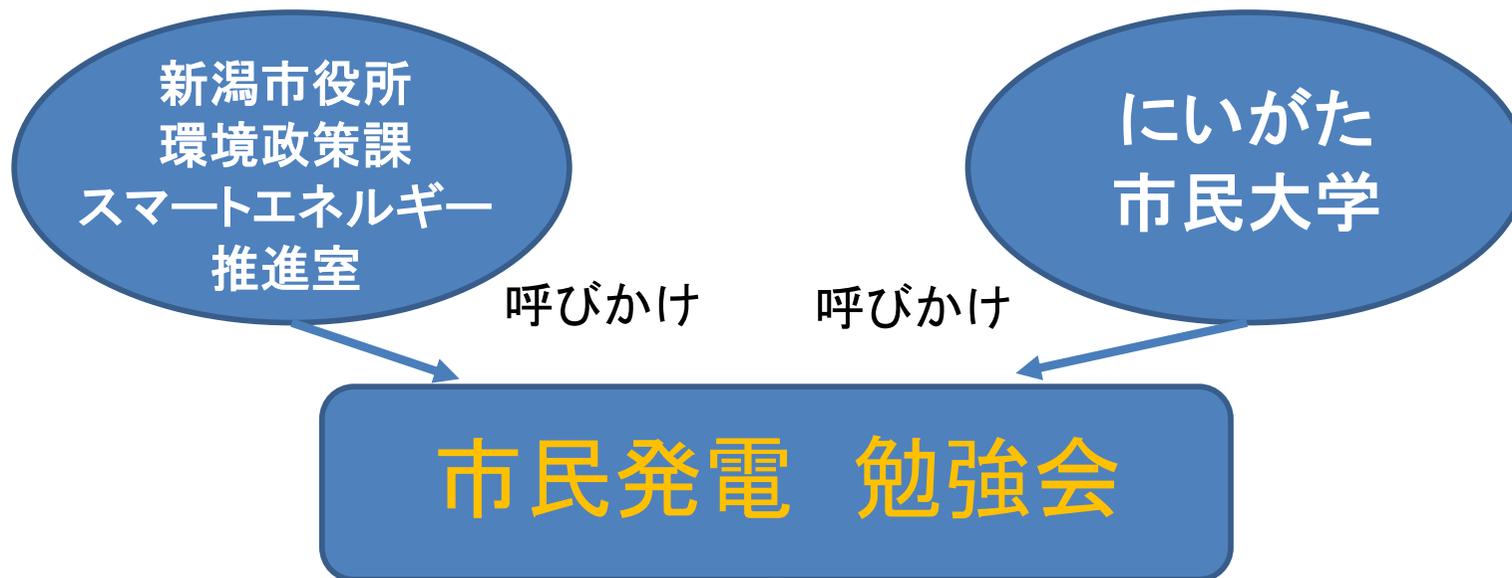


おらってにいがた市民エネルギー協議会

市民エネルギーが切り拓く新潟の新しい社会

おらって誕生の経緯

「おらって」のスタートは、「にいがた市民大学」に集まった市民有志と新潟市環境政策課が共催した勉強会でした。



※2014年12月23日より、一般社団法人化

市民有志



おらってにいがた市民エネルギー協議会

市民エネルギーが切り拓く新潟の新しい社会

市民参加と、全国ご当地エネルギーの応援



2014年9月23日に開催したキックオフイベントでは、金融機関や議員、行政関係者、研究者を始め、市民約300名に参加していただき、ワークショップで「おらって」の目標や使命を確認しました。

おらってにいがた市民エネルギー協議会

市民エネルギーが切り拓く新潟の新しい社会

【市民が会社をつくってみた:会社概要】

名称:(一社)おらってにいがた市民エネルギー協議会

代表理事:佐々木 寛(新潟国際情報大学教授)

理事:横山 由美子(副代表)、横木 将人(副代表)、白井 智雄、木村 義彦、
渡辺 福太郎、橋本 桂子

監事:小林 光雄

設立:2014年12月

会員数:180名(2018年10月現在)

所在地:新潟県新潟市

事業目的:

- (1) 自然エネルギー及び省エネ活動の普及促進
- (2) 自然エネルギーによる発電事業
- (3) 省エネサービス事業及び熱供給事業
- (4) グリーン・ツーリズム事業
- (5) 広範な市民の参加や実践、議論の場の創出
- (6) 関係諸団体との連携及び協力
- (7) 前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
- (8) 前各号に掲げる事業を目的とした基金の募集



市民が挑戦してこそ
→学びがうまる
→人材が育ち
→知識や知恵が蓄積され
→地域がかわる
→仲間が増え、新たな
挑戦や希望がうまれる

市民エネルギーが切り拓く新潟の新しい社会

「おらって市民エネルギー株式会社」設立



おらって市民エネルギー株式会社は、協議会会員を中心とした32の個人、法人が発起人となり、2015年6月に発足致しました。

おらってにいがた市民エネルギー協議会

市民エネルギーが切り拓く新潟の新しい社会

「持続可能な低炭素まちづくり推進のためのパートナーシップ協定」

2015年8月18日 新潟市との協定締結

2018年3月23日 村上市との協定締結



市、市民発電法人と協定
太陽光用地を無償で提供

新潟市は18日、自然エネルギーを活用した市民発電事業を目指す一般社団法人「おらってにいがた市民エネルギー協議会（同市）」とパートナーシップ協定を締結した。太陽光発電所の用地として、市の土地と公共施設の屋根を協議会に無償で提供する。協議会は収益を活用した市民向けの環境啓発講座を開き、低炭素社会の推進に向けて共に取り組む。

協定期間は2037年3月11力所に、合計出力約500号機は黒埼市民会館（西区）月31日まで、市の土地4万000坪の太陽光発電設備を設ける。9月下旬に完成所、施設の屋根7カ所の計一置し、20年間発電する。11月1日、他も15年度内の設置予定を目標とする。

協議会は災害などの停電時、発電設備を設置した市の施設に対して無償で電力を供給する。地域活動として、子どもや一般市民を対象にエネルギーや環境をテーマにした講座を、年度中に始める予定だ。

協議会は民間の12カ所でも発電する予定で、総出力は約1千kwになる見込み。全量を東北電力に売電する。一般から出資を募る市民ファンドの活用も予定している。

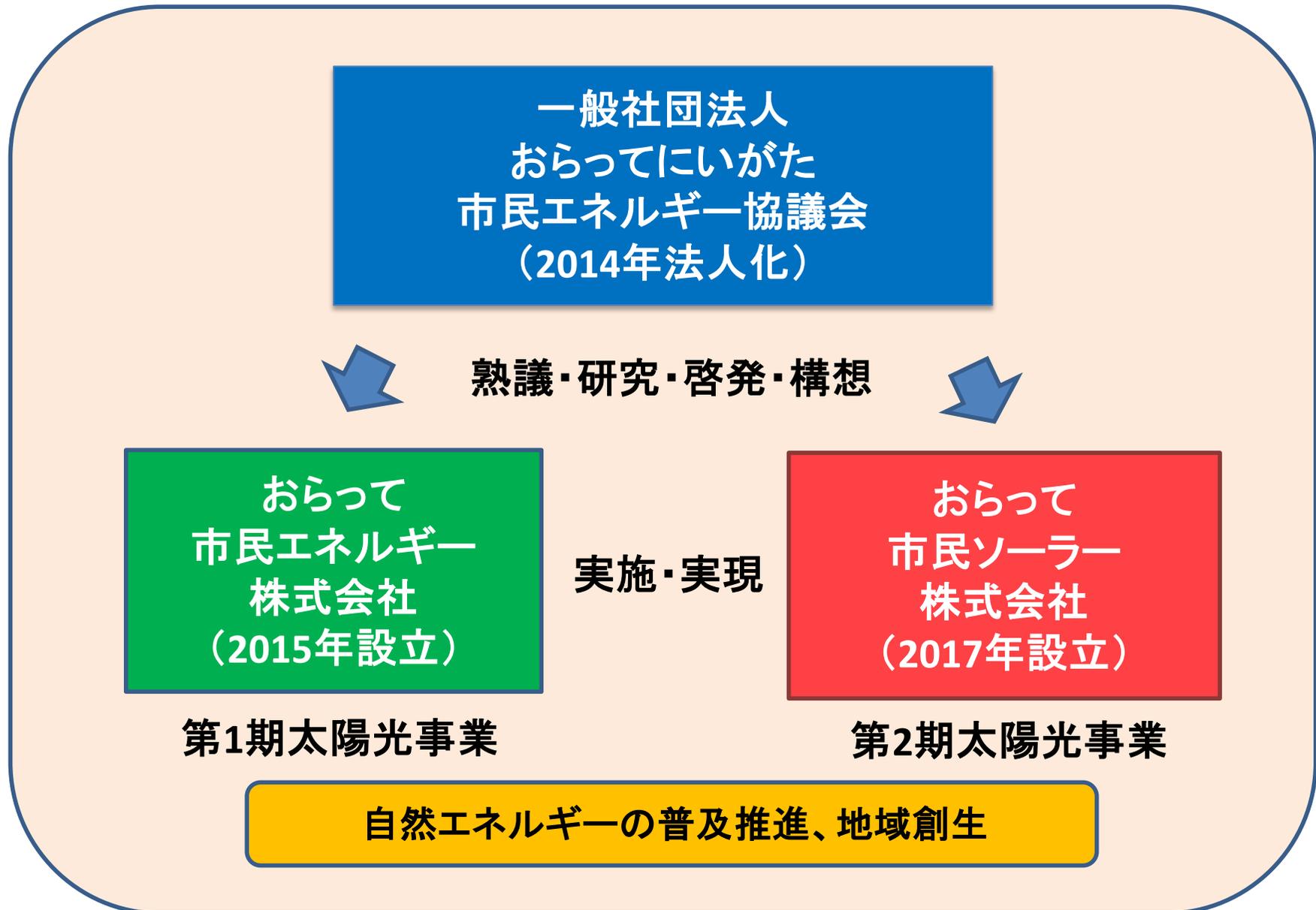
締結式で、協議会の佐々木寛代表理事（新潟国際情報）と篠田昭新潟市長（右）が協定書を披露する。おらってにいがた市民エネルギー協議会（左）の佐々木寛代表理事（右）と篠田昭新潟市長（左）が協定書を披露する。おらってにいがた市民エネルギー協議会（左）の佐々木寛代表理事（右）と篠田昭新潟市長（左）が協定書を披露する。

【新潟日報】
2015.8.19 朝刊

報大教授は「市民主体のエネルギー事業を実現し、持続可能な新潟をつくりたい」と話した。篠田市長は「市民の皆さんが組織をつくって取り組んでいただけるのは大変ありがたい。取り組みがさらに進むよう、われわれも精いっぱい頑張りたい」と述べた。

おらってにいがた市民エネルギー協議会

協議会と株式会社の関係性



市民エネルギーが切り拓く新潟の新しい社会



おらって市民発電所
39カ所-約2,000kW相当
の発電所が稼働しています。
(民有地・公有地)

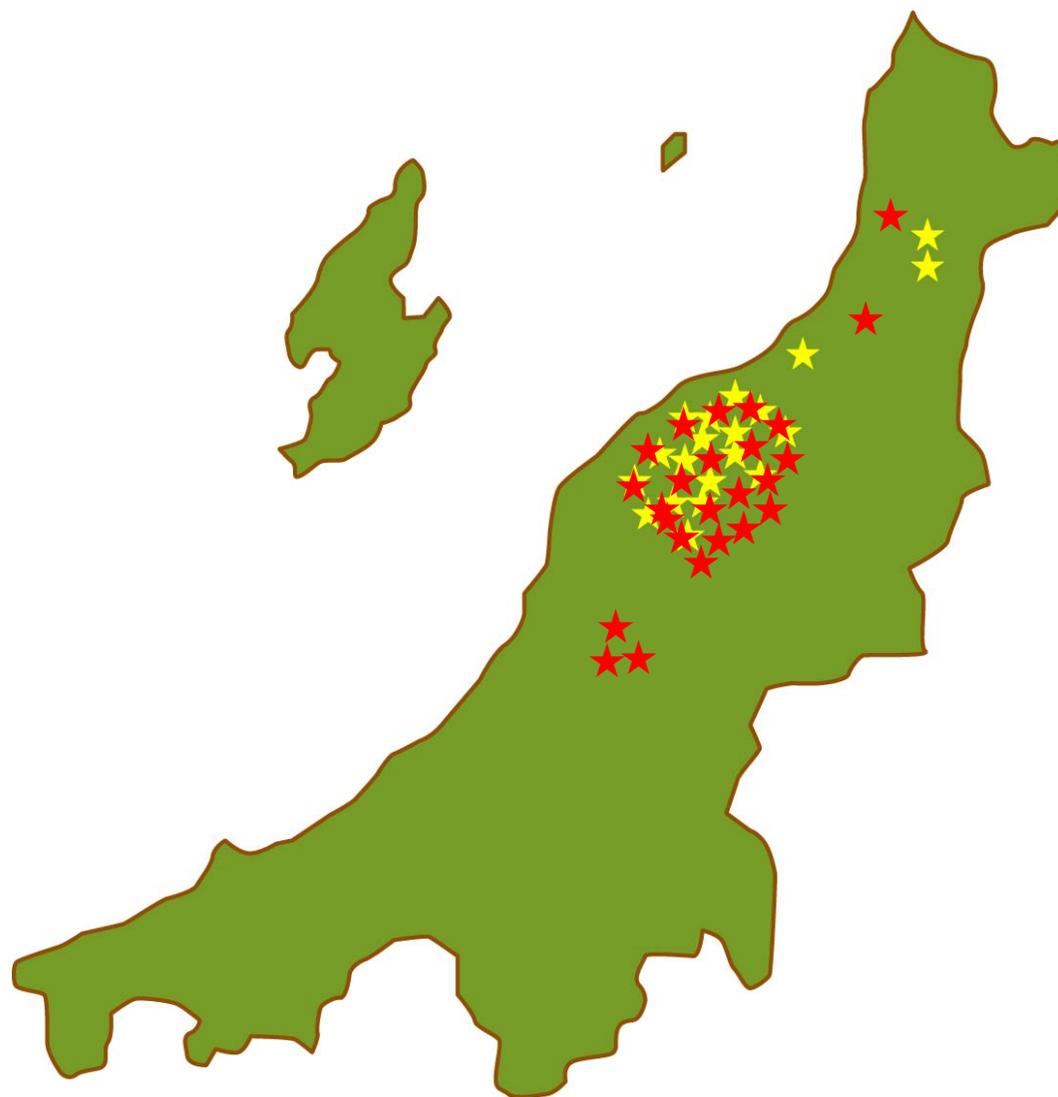


おらってにいがた市民エネルギー協議会

市民エネルギーが切り拓く新潟の新しい社会

第1期
太陽光
電事業

第2期
太陽光
電事業



おらってにいがた市民エネルギー協議会

市民エネルギーが切り拓く新潟の新しい社会

国外との連携(2017年2月14日) 世界幸福度ナンバーワンの国 デンマークに学ぶ 新潟の新しい社会



 世界幸福度ナンバーワンの国
デンマークに学ぶ、にいがたの新しい未来
おらっての対談：デンマーク大使 × 新潟県知事

2月14日(火)
15:45~17:30
会場：新潟自治会館 別館 9F ゆきつばき



今年、デンマークと日本の国交樹立150周年に当たります。
世界幸福度ナンバーワンの国デンマーク(※)は、世界最高水準の教育を誇り、農業国でありながら、自然エネルギー大国、さらには日本の1.6倍以上の一人当たりGDPを生み出す産業先進国でもあります。

にいがたの新しい未来を考えるうえで、デンマークから学ぶことはとても多いと思います。
このたび、フレディ・スウェーデン駐日デンマーク王国特命全権大使がお越しになるのを機会に、大使のご講演や米山隆一新潟県知事との対談を通じ、明日のにいがたについて市民のみならず、いっしょに考えたいと思います。(※一國連世界幸福度レポート2016年)

「デンマークに学ぶ、にいがたの新しい未来」

【第1部】 記念講演
フレディ・スウェーデン駐日デンマーク王国特命全権大使

【第2部】 対談
テーマ『自然エネルギー、医療・福祉』など
スウェーデン デンマーク大使 × 米山新潟県知事

 駐日デンマーク王国特命全権大使
フレディ・スウェーデンさん

 新潟県知事
米山隆一さん

●参加費：一般500円 学生無料
●会場：新潟自治会館別館9F(新潟市中央区新光町4番地1)
コンベンションホール ゆきつばき
※お車でご来場の方は自治会館または周辺の有料駐車場をご利用ください

■主催：(一社)おらってにいがた市民エネルギー協議会
■後援：新潟県・デンマーク王国大使館

<申込み> おらってにいがた市民エネルギー協議会 FAX 025-385-6097
氏名・電話番号を明記してメールまたはFAXにてお申込み下さい。

 ORコードを
ご用下さい

「おらって」とは新潟の方言で「私たち」という意味です。市民が集まって、話し合いの中から「市民発電所」を20箇所つくりました。未来の世代に向けて、私たちが出来ることを模索し、実践していきます。 ホームページ www.oratte.org メール info@oratte.org





おらってにいがた市民エネルギー協議会

市民エネルギーが切り拓く新潟の新しい社会

1 総合 11版 2019年(令和元年)6月16日(日曜日)

市民がつくった再生可能エネルギー由来の電気を県内で販売して消費する電力の地産地消の取り組みが、7月にも始まる見通しとなった。再生エネの発電事業などを行う新潟市の市民団体が15日、電力の再生エネ転換を目指す「パルシステム電気」(東京)に売電することを決めた。同社は県内で電力販売を行う。本県でつくられた再生エネ電力を本県産として販売する取り組みは、県内

再生エネ電力地産地消へ

新潟の市民団体発電

では異例。売電するのは、一般社団法人「おらってにいがた市民エネルギー協議会」(佐々木寛代表理事)で、新潟市を中心に約2千戸分(建設中などを含む)の太陽光発電設備を所有する。現在は発電した全量を東北電力に売っているが、100割分の設備をパルシステム電気への販売に充てる。彦事務局長は「他者に頼らず、エネルギーも地産地消する時代が来た。取り組みを通じて、地域内の電力が100%再生エネ由来となることを目指したい」と話した。パルシステム電気の鈴木友和課長は「他県でも電力の地産地消は広がっている。活動が広がれば地域に存在する再生可能エネルギー資源の掘り起こしにもつながる」と期待を寄せた。「おらって」は2014年に発足。現在は市民ら約180人の会員がい

来月にも県内で販売

2019年6月
パルシステム電気と協働。
おらっての電気がついに
新潟で購入可能に！

← 『新潟日報』一面
2019年6月16日



6月総会で決定。↓

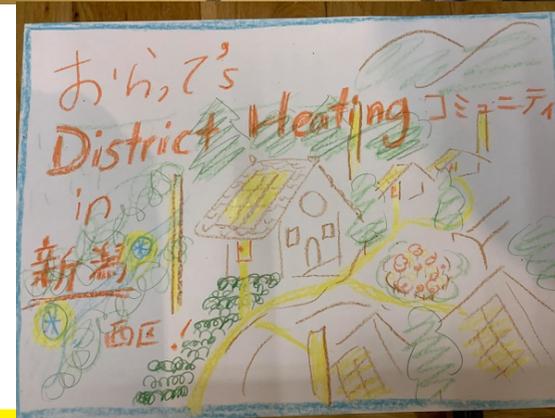


おらってにいがた市民エネルギー協議会

市民エネルギーが切り拓く新潟の新しい社会

次世代の育成 (SDGsプロジェクト)

環境省採択事業 2019年9月



おらっぺにいがた市民エネルギー協議会

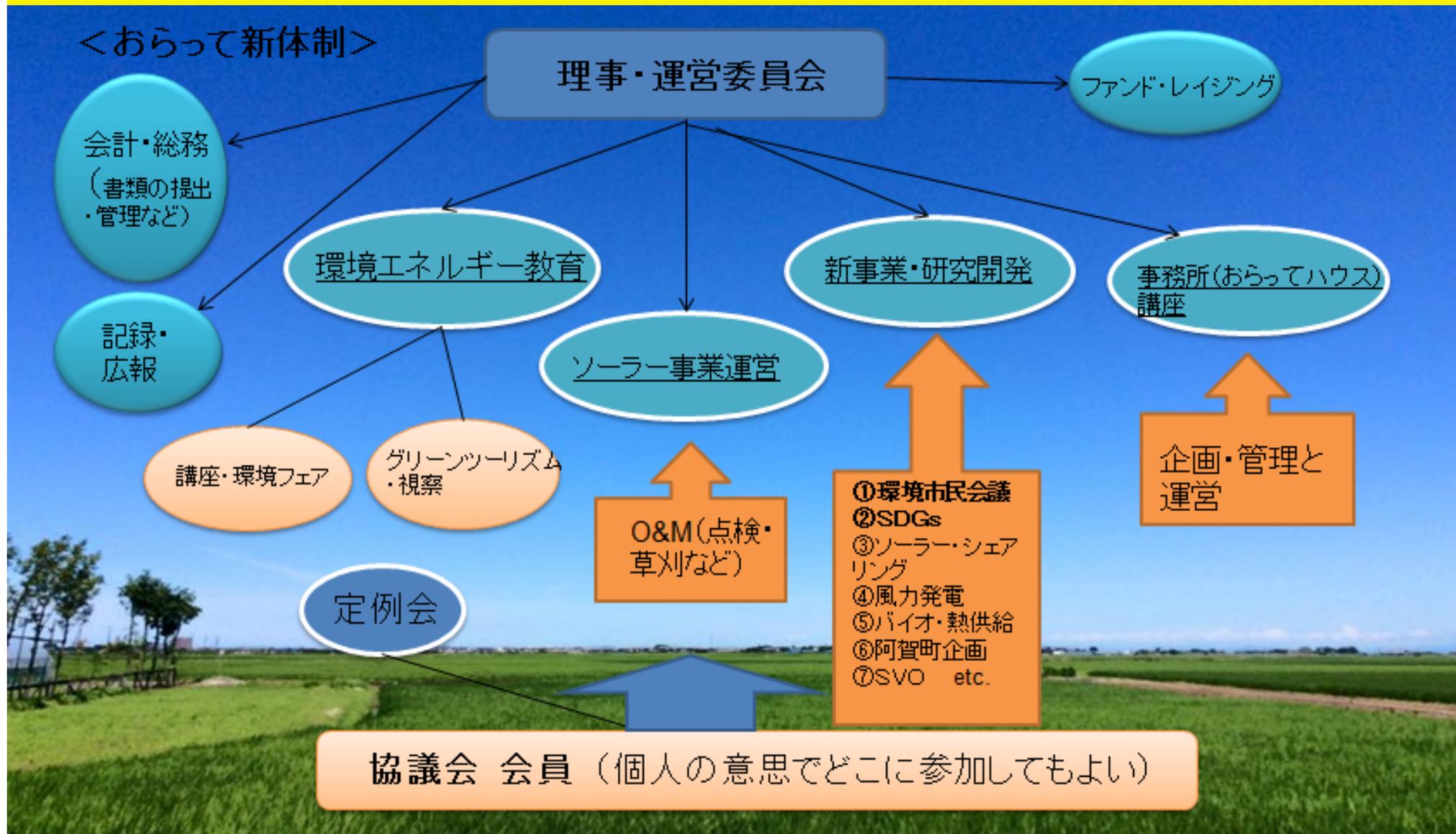
市民エネルギーが切り拓く新潟の新しい社会

おらって創立5周年記念集会「おらっての電気をつくろ！」

2019年9月21日



市民エネルギーが切り拓く新潟の新しい社会



おらってにいがた市民エネルギー協議会

市民エネルギーが切り拓く新潟の新しい社会

今後の事業展開

新潟らしい再生可能エネルギーの活用と持続可能な地域社会づくり

「ソーラーシェアリング」、「バイオマス・バイオガス」、「小水力」



おらってにいがた市民エネルギー協議会

市民エネルギーが切り拓く新潟の新しい社会

環境省委託事業 温泉街(観光) × 農業 ×
地域課題解決型SDGsモデル事業(岩室地域のまちづくり)



檜の露天風呂